

横浜北東・川崎地域
単位制総合学科クリエイティブスクール
（田奈高校・麻生総合高校）
設置計画

令和7年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 田奈高等学校 麻生総合高等学校
- (2) 位置 田奈高等学校敷地（横浜市青葉区桂台 2－39－2）
- (3) 実施年度 令和 8 年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新しい高校として、総合学科（クリエイティブスクール）に改編し、きめ細かな生徒支援と将来の就労等に向けた職業指導等、幅広い学びの実現を図る。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、生徒の自己実現を支援する体制を構築し、生徒一人ひとりの目的意識を持った進路選択を実現できるように取り組む。
- 生徒一人ひとりにきめ細かな支援ができるよう、1 クラスの人数を 30 人程度で編成し、複数担任制を取るクリエイティブスクールのシステムに継続して取り組む。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制総合学科（クリエイティブスクール）の県立高校としての教育の展開
- 総合学科（クリエイティブスクール）としての学習の取組みと教育の展開
総合学科（クリエイティブスクール）として、学び直しを通じてわかることが実感できる学びを提供し、一人ひとりの進路希望の実現に向けた指導ときめ細かな支援に取り組む、社会の一員として自己の未来を創造することができる人材を育成する。
- 生徒支援、教育相談の充実
集団での活動による人間関係づくりの工夫、相談室・ラウンジ等の居場所づくり、専門家による支援や関連機関との連携・協力を通して、すべての生徒への相談・支援に取り組む。

○ 地域との協働の推進

地域の教育資源を積極的に活用し、体験的な学びや地域等との交流を通して、自己有用感を高め、人や社会との関わりを大切にする心を育成する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
- (2) 学 科 総合学科（クリエイティブスクール）
- (3) 学校規模 480名程度（各学年160名程度 4学級規模を6学級展開）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 総合学科の原則履修科目を履修したうえで、各自の進路希望や特性、興味・関心に基づく科目を選択
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：50～8：55
1 校 時	9：00～9：50
2 校 時	10：00～10：50
3 校 時	11：00～11：50
4 校 時	12：00～12：50
昼 休 み	12：50～13：35
5 校 時	13：35～14：25
6 校 時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：35
清掃	15：35～15：45

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。
学力検査を課さず、「特色検査（面接及び自己表現検査）」を実施する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路を開拓することができるよう、学び直しを含めた生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得と、新たな可能性との出会いをめざした学習機会の確保を目標とし、総合学科として適切な科目配置を行う。
- 原則必修科目「産業社会と人間」及び専門教科・科目（専門教科に関する学校設定科目を含む）を合わせて25単位以上設ける。
- 総合学科として、「グローバル教養系列」、「情報ビジネス系列」、「生活デザイン系列」、「芸術スポーツ系列」の4つの系列を設置し、各系列の目標や内容に応じた学習を可能とする科目を適正に配置する。
- 専門教育における産業教育系の科目については基礎的・基本的な科目を精選して設置する。

(2) 教育展開の方針

- 義務教育段階からの基礎的・基本的な学力の定着と、その学力を基盤とした社会的自立に必要な汎用的能力の育成を目標とした学び直しを展開する。
- 将来の職業選択・進路目標を視野に入れた原則必修科目「産業社会と人間」におけるキャリア教育を実践する。
- 生徒一人ひとりの興味・関心に応じた科目を系統的に学習するため、必修科目、原則必修科目「産業社会と人間」、学校必修科目及び選択科目をバランスよく配置し、生徒が選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。
- 地域の人材や施設、イベント等との連携を図り、ボランティア活動やインターシップ等の学校外活動や学校外での学修における学びを積極的に推進する。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ必修科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に対応するため、これまで両校が取り組んできた成果をいかした多様な科目を適切に設置する。
- 学校外活動や学校外での学修成果による単位認定を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 総合学科 (クリエイティブスクール)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次	現代の国語②		言語文化②		公共②		数学Ⅰ③		科学と人間生活②		体育②		保健①	Ⅰ②	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道		英語コミュニケーションⅠ③		家庭基礎②		情報Ⅰ②		産業社会と人間②		教養Ⅰ②		LHR①			
2 年次	国語表現③		地理総合②		歴史総合②		物理基礎／化学基礎／生物学基礎②		体育③		保健①		教養Ⅱ②		⑩ 系列選択⑫（必修選択②）										総合的な探究の時間②		LHR①			
3 年次	体育③															⑬ 系列選択⑭（必修選択⑧）										総合的な探究の時間①		LHR①		

教育課程表は予定であり、変更することがある。

< 系列選択科目 >

[グローバル教養系列]

論理国語②、文学国語②、古典探究②、文学研究 (国) ① (短期集中)、
 地理探究②※、日本史探究④※、世界史探究④※、
地域で生きる (地歴) ① (短期集中)、近現代と神奈川 (地歴) ②、倫理②、
 政治・経済②、暮らしの中の法律・経済 (公) ②、数学Ⅱ④、数学Ⅲ④※、
 数学A②、数学B②、数学C②、物理基礎②、物理④※、化学④※、生物基礎②、
 生物④※、地学④※、英語コミュニケーションⅡ④・②※、英語コミュニケーションⅢ④※、
 論理・表現Ⅰ②、論理・表現Ⅱ②※、ハンゲルの世界 (国際) ②、
 スペイン語の世界 (国際) ②、中国語の世界 (国際) ②、教養Ⅲ (教養) ②※

[情報ビジネス系列]

情報Ⅱ②、[情] コンテンツの制作と発信②、[商] ビジネス基礎②、
 [商] 簿記④、[商] ソフトウェア活用②、アントレプレナーシップ (商) ②、
 AIとビジネス (商) ②、マネーリテラシー (商) ②

〔生活デザイン系列〕

〔農〕 農業と環境④、〔家〕 保育基礎②、〔家〕 ファッション造形基礎②、
〔家〕 フードデザイン②、〔福〕 社会福祉基礎②、〔福〕 介護総合演習②※、
いのちと健康（人間）②、心理学入門（人間）②

〔芸術スポーツ系列〕

音楽Ⅱ②、音楽Ⅲ②※、美術Ⅱ②、美術Ⅲ②※、工芸Ⅰ②、書道Ⅱ②、
書道Ⅲ②※、幼児教育音楽（芸）②、書道の世界（芸）②、
芸術作品研究（芸）①（短期集中）、〔体〕 スポーツⅡ②※、〔美〕 素描②、
〔美〕 ビジュアルデザイン②、陶芸（表現）②、演劇基礎（表現）②、
演劇実践（表現）②※、身体表現（表現）②

※ 3年次で選択することができる科目。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

<主な科目>

アントレプレナーシップ（2単位）

企業経営の仕組みを戦略、組織、財務、経営哲学等の様々な観点から学ぶ。外部機関と連携した課題解決型学習の中で、集団での仮説構築、議論、発表の過程を繰り返し、社会集団において発揮すべきリーダーシップの体得をめざす。

介護総合演習（2単位）

社会福祉基礎で学習した内容を踏まえ、さらに実践的・体験的な学習活動を行う。地域の福祉施設と連携した実習を取り入れることで、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力の育成をめざす。

教養Ⅰ・教養Ⅱ・教養Ⅲ（各2単位）

義務教育段階での学習の確実な定着及び高等学校における学習内容の基礎固めのため、体系的・系統的な学習活動を展開する。学習への興味・関心を高め、高等学校の学習内容の確実な定着を図るとともに、卒業後に必要な社会人としての教養を身に付けることをめざす。

(5) 学習指導の工夫

- 総合学科の特色をいかし、実践的・体験的な学習を重視するとともに、クリエイティブスクールとして学び直しを必要とする生徒の多様な能力や個性に対応した豊かな学びを提供する。
- 少人数クラス編成や複数担任制を活用しながらきめ細かな支援に努め、基礎学力の定着を図る。
- 「総合的な探究の時間」を中心に探究的な学びや表現活動を充実させ、主体的に学ぶ姿勢や課題解決能力の伸長を図る。
- 生徒一人ひとりの学習に対する興味・関心を高めながら、他者との協働的な学びを充実させることで、卒業後も社会において学び続ける姿勢を育む。

(6) 生徒指導等の工夫

- 生徒に対する理解を深め、生徒一人ひとりに最適できめ細かな支援を行うことで自己肯定感を醸成する体制を整える。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動において、学校生活の向上を図り、主体性や自立心を育み、生徒相互の好ましい人間関係の構築をめざした支援を行う。
- 教育活動全体において、生徒が抱える課題を把握しながら、スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）や外部機関との連携を図り、生徒が周囲との信頼を深め、社会性を身に付けられるような支援を行う。

(7) 進路指導の工夫

- インターンシップをはじめとする様々な実践的・体験的な活動を通して、主体的に社会に参画する意識を養いつつ、自己の在り方生き方を考え、豊かな社会生活をおくることができる人材を育成する。
- 地域との協働を通して、社会と自分との接点を意識することで、自己有用感の醸成を図り、将来の自分像を見据えたキャリア形成を促す。
- 卒業後の社会的な自立を見据えた履修指導と、体系的なキャリア教育を行い、生徒の自己実現を支援する。

(8) 学校経営

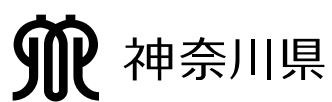
- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における単位制総合学科（クリエイティブスクール）の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における単位制総合学科（クリエイティブスクール）の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256